

目次

安全上のご注意	4-7
概要・特長	8-9

各部の名称と機能

各部の名称と機能	
• フロントパネル	10-14
• コネクタ部	15-17
テープ	18

接続と設定

接続	
• 本機1台で録画・再生する場合	19
• 2台で録画・再生・編集する場合(デッキ対デッキ)	20
• 編集コントローラを使用する場合	21
• 内部エンコーダーの調整	22
ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整	23
回路板	24

基本操作

電源投入/カセット挿入	25
STOPモード	26
記録(AJ-D450のみ)	27
再生	28

セットアップメニュー

セットアップ(初期設定)	29
セットアップ(設定)メニュー	30
• SYSTEM	34
• BASIC	35
• OPERATION	36
• INTERFACE	38

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

• EDIT	39-41
• TAPE PROTECT	42
• TIME CODE	43-44
• VIDEO	45-46
• AUDIO	47-49
• MENU	50

タイムコード

タイムコード/ユーザービットについて	51
• 内部/外部タイムコードの記録	52
• タイムコード/ユーザービットの再生	53

機能解説

スーパーインポーズ画面	54
サーボリファレンス	55-56
音声Vフェード機能(AJ-D440のみ)	57

メンテナンス

ラックマウント	58
ビデオヘッドクリーニング	59
結露	59
エラーメッセージ	60-63

定格・その他

RS-232Cインターフェース	64-70
コネクタ信号	71-72
アフターサービスについて	73
定格	74-75

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

オプション

- コンポーネントシリアルインターフェースボード AJ-YA750P
- カセットアダプタ AJ-CS750P
- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P
- デジタルオーディオインターフェイスボード AJ-YA655P
- オーディオメモリーユニット AJ-YA752P

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

不安定な場所に
置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

電源コード上に
重い物を乗せない！



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。


安全上のご注意

必ずお守りください。


異常時の処理について

警告


本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。
電源プラグを抜く


本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると火災・感電をおこすおそれがあります。
電源プラグを抜く


本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると感電・事故をおこすおそれがあります。
● お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！


 火災・感電の原因となります。
● お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！


 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
● お買い上げの販売店にご相談ください。

使用方法について


本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！

 こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。
禁止


機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！

 火災・感電の原因となります。
禁止


本機を改造しない！

 火災・感電の原因となります。
分解禁止


水場で使用しない！

 火災・感電の原因となります。
水場使用禁止

本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！

 感電の原因となります。
点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
分解禁止

機器がぬれたり、水が入らないようにする！




 火災・感電をおこすおそれがあります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
禁止

安全上のご注意

必ずお守りください。









警告

使用方法について

<p>電源コードを</p> <ul style="list-style-type: none">● 加工しない!● 傷つけない!● 無理に曲げない!● ねじらない!● 引っ張らない!● 加熱しない! <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>指定のカバー以外ははずさない!</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>分解禁止</p>
--	--	--

注意

設置について

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>ぬれた手でプラグを抜き差ししない!</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>次のような使い方はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 本機を風通しの悪い所に押し込む。● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
<p>電源コードや接続コードを下にたらしさない!</p> <p> ふれたり、引っかかたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>持ち上げや移動には十分注意する!</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。</p> <p>10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど慎重に取り扱ってください。</p> <p>禁止</p>	

注意

お手入れについて

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまってきたまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

使用方法について

本機の上に重い物を置かない！



バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

禁止

本機に乗らない！



倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。

禁止

カセットテープ挿入口に手をはさまれないように注意する！



けがの原因となります。

指に注意

長時間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● ビデオカセットは、取り出しておいてください。

概 要

本機は、1/4インチ幅のテープを採用したデジタルVTRです。

デジタル圧縮技術を採用しておりますので、従来のアナログ方式と比べて、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなります。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっておりますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップの各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら行います。

AJ-D450は外部からのコントロールによりアSEMBル・インサート両編集が行えます。

特長

小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウントアダプタ（オプション、AJ-MA75P）を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大184分記録

使用するカセットテープはMカセット（最大66分用）とLカセット（最大184分用）です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープはカセットアダプタ（オプション、AJ-CS750P）を使用すると、本機で再生できます。

< ノート >

- 民生用カセットテープのスロー再生はできません。
- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。

デジタルスローモーション/ジョグ

外部コントローラ等からの指令で、以下の速度のスロー再生画像はクリアな再生が行えます。

-0.43/-0.3/-0.2/-0.1/-0.03/0/+0.03/+0.1/+0.2/+0.3/+0.5/+0.75

< ノート >

- スローモーションのスピードを変えた時には多少のノイズが発生することがあります。
- スローモーション再生時には画面が上下に動きます。

外部コントローラからの指令によりダイヤル・シャトル操作が可能

シャトル操作は、正・逆方向に最大60倍速までカラー画像で再生が可能。

タイムコード

本機はTCG*（タイムコードジェネレータ）/TCR（タイムコードリーダ）を内蔵しています。

タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、LTCとして本機に記録することが可能です。

* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

特長 (つづき)

多機能な入出力インターフェース (入力はAJ-D450のみ)

- アナログ入出力
コンポーネント (Y、P_B、P_R) とコンポジット、およびS-VIDEOの各入出力端子を装備しています。
- デジタルオーディオ入出力
デジタルオーディオインターフェースボード (オプション、AJ-YA655P) を使用しますと、AES/EBUオーディオの入出力が可能となります。
- シリアル・デジタル入出力
コンポーネントシリアルインターフェースボード (オプション、AJ-YA750P) を使用しますと、シリアルデジタル (SMPTE 259M-C、272M) の入出力が可能となります。
< ノート >
シリアル・デジタルオーディオ (SMPTE 272M) の使用には別売品のAJ-YA655Pが必要です。
- 9ピン (RS-422A)/(RS-232C、オプション) リモート
標準的な9ピンシリアル (RS-422A)、RS-232C (オプション) の各端子を備えています。

● 2チャンネルの高音質デジタルオーディオ (記録はAJ-D450のみ)

2チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

キュートラックへの記録はオーディオCH1、CH2の中から選択して記録できます。(セットアップメニューで設定します。)

キュートラックへの専用入出力端子は装備しておりません。

外部コントローラからの自動編集機能 (AJ-D450のみ)

AJ-D450は、外部コントローラからアSEMBル、インサートの両編集が行えます。

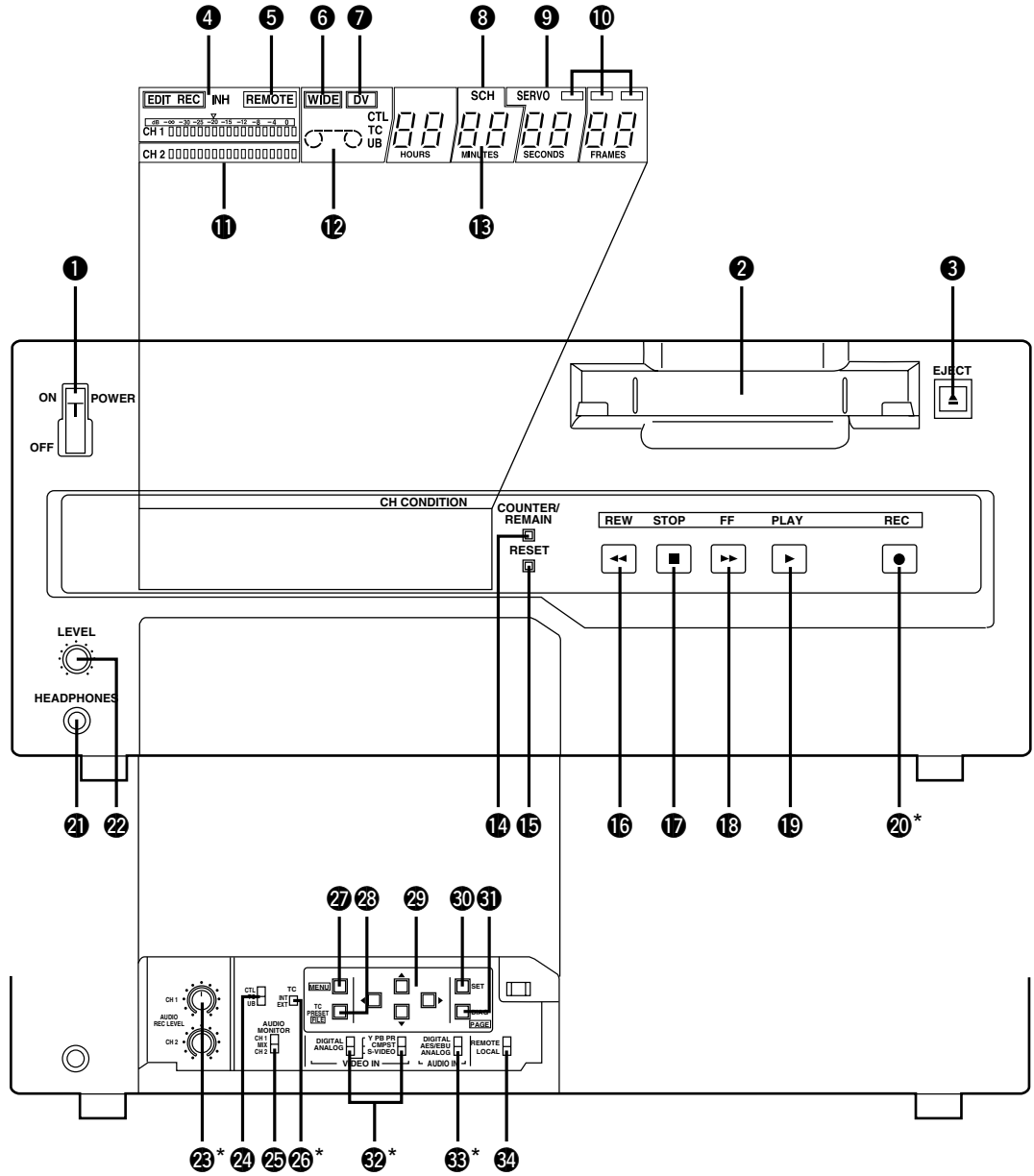
メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

各部の名称と機能

フロントパネル

カウンタディスプレイ部



* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

-
-
- ① POWER スイッチ
ON側を押すと電源が入り、カウンター表示部が点灯します。
 - ② カセット挿入口
Mカセット、Lカセット、およびアダプタ付きの民生用カセット（Sカセット）の挿入口です。
民生カセットは、再生のみが可能です。
 - ③ EJECT ボタン
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。
 - ④ EDIT/EDIT REC/REC/REC INHランプ（AJ-D450のみ）
EDIT : 9Pリモートからのコントロールの場合、編集モードが選択されている時に点灯します。
EDIT REC : 9Pリモートからのコントロールで、編集中に点灯します。
REC : 録画中に点灯します。
REC INH : カセット誤消去防止状態になっている時に点灯します。
この時には、記録および編集はできません。
 - ⑤ REMOTEランプ
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
 - ⑥ WIDEランプ
16 : 9のワイド画面モードの時に点灯します。
 - ⑦ 民生カセット挿入表示ランプ
民生用DVの機器で記録されたカセットが挿入されている時に点灯します。
 - ⑧ SCH ランプ
外部同期信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。
 - ⑨ SERVOランプ
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
 - ⑩ チャンネルコンディション・ランプ
エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 青 赤)
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。
青 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。
 - ⑪ レベルメーター
PCMオーディオ信号のCH1/CH2の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には、入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
 - ⑫ カセット挿入表示ランプ
本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。

各部の名称と機能

- ⑬ カウンタ表示部
TC、CTLのカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。
- ⑭ COUNTER/REMAINボタン
テープカウンタのテープタイム表示とテープ残量表示の切換えを行います。
残量表示の場合は「r * * *」と表示されます。またカセットテープ挿入後、テープ残量の計算ができるまでは「r - - -」(- - - が点滅)、EJECT時は「r EJ」(EJが点滅)となります。
- ⑮ RESETボタン
CTLモード時に押すと、カウンタの表示が 00 : 00 : 00 : 00 になります。
セットアップメニュー時は、RESETボタンを押すと初期設定値になります。
- ⑯ REWボタン*¹
押すと、テープを巻き戻します。
PLAYボタンと同時に押すと、- 9.5倍速のシャトル (SHTL) モードになります。
- ⑰ STOPボタン
押すとテープ走行が停止し、セットアップメニューNo.111 (STOP EE SEL) が「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑱ FFボタン*¹
押すと、テープを早送りします。
PLAYボタンと同時に押すと、+ 9.5倍速のシャトル (SHTL) モードになります。
- ⑲ PLAYボタン
押すと再生が始まります。
RECボタンと同時に押すと記録が始まります。
- ⑳ RECボタン (AJ-D450のみ)
このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。
再生、サーチ*²、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押すと、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。
STOPボタンを押すと、元の画像・音声にもどります。
- ㉑ ヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ㉒ 音量調整ボリューム
ヘッドホンの音量を調整するボリュームです。

*¹ 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102 (FF, REW MAX) で選択が できます。

*² オーディオのE-Eモードは保障しません。

-
- 23 音声記録レベル調整ボリューム (AJ-D450のみ)
アナログオーディオ信号CH1/CH2の記録レベルを調整するボリュームです。
- 24 CTL/TC/UBスイッチ
カウンタ表示部の切換えです。
CTL : テープタイマー (コントロール信号) を表示します。
TC : タイムコードを表示します。
UB : ユーザービットを表示します。
- 25 MONITOR SELECTスイッチ
モニターに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。(セットアップメニュー No.713(MONI CH SEL)の設定により、表示とモニター出力が一致しない場合があります。)
- 26 INT/EXTスイッチ (AJ-D450のみ)
INT : 内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。
EXT : タイムコード入力端子もしくは映像信号のVITCより入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューで設定します。
- 27 MENUボタン
このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを(ただし、VIDEO OUT 3端子を使用している時)、本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニューモードから抜けだし、もとに戻ります。
- 28 TC PRESET (FILE)ボタン (TC PRESET機能はAJ-D450のみ)
このボタンを押すと、タイムコードの設定モードになります。
セットアップメニューモード中にカーソルボタン(◀、▶)を使用しますと、ユーザーファイルを切換えることができます。(詳しくはセットアップメニューの項、30ページ参照)
- 29 カーソルボタン(◀、▶、▲、▼)
タイムコードの設定やセットアップメニューの設定をするときに使用します。
◀▶ : タイムコードの表示が点滅している桁を変更します。
一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右または左に移動します。
◀の場合は左に、▶の場合は右に移動します。
▲▼ : タイムコードの表示が点滅している桁を変更します。
一度押すたびに表示の数値が上下に一つずつ増減します。
▼の場合は少なくなり、▲の場合は増えます。
ボタンは押し続けると次々に変化します。
セットアップメニューモード中の操作についてはセットアップメニューの項(29ページ)を参照してください。
- 30 SETボタン
このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。
データ確定後は、セットアップモードから抜けだし、もとに戻ります。
- 31 DIAGボタン
このボタンを押すとVTRの情報を表示します。
再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。
VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。
これらの情報の表示切換えは、カーソルボタン(◀、▶)を押すことによって行います。
「HOURS METER」画面では通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数等を表示します。
「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

各部の名称と機能

③2 VIDEO INPUTスイッチ (AJ-D450のみ)

入力ビデオ信号の切換えを行います。

DIGITAL : シリアルコンポーネントデジタルビデオ信号 (SMPTE 259M-C)* を記録する時に切換えます。

ANALOG : アナログビデオ信号を記録する時に切換えます。

アナログビデオ信号は入力信号に応じて次のように選択します。

Y P_B P_R : アナログコンポーネントビデオ信号を記録する時。

CMPST : アナログコンポジットビデオ信号を記録する時。

S-VIDEO : S-VIDEO信号を記録する時。

*シリアルインタフェースボードAJ-YA750P (オプション) が必要になります。

③3 AUDIO INPUTスイッチ (AJ-D450のみ)

入力オーディオ信号の切換えを行います。

DIGITAL : シリアルデジタルオーディオ信号 (SMPTE 272M)*¹を記録する時に切換えます。

AES/EBU : デジタルオーディオ信号を記録する時。^{*2}

ANALOG : アナログオーディオ信号を記録する時。

^{*1} シリアルインタフェースボードAJ-YA750P (オプション) とデジタルオーディオインターフェースボードAJ-YA655P (オプション) の両ボードが必要です。

^{*2} デジタルオーディオインターフェースボードAJ-YA655P (オプション) が必要です。

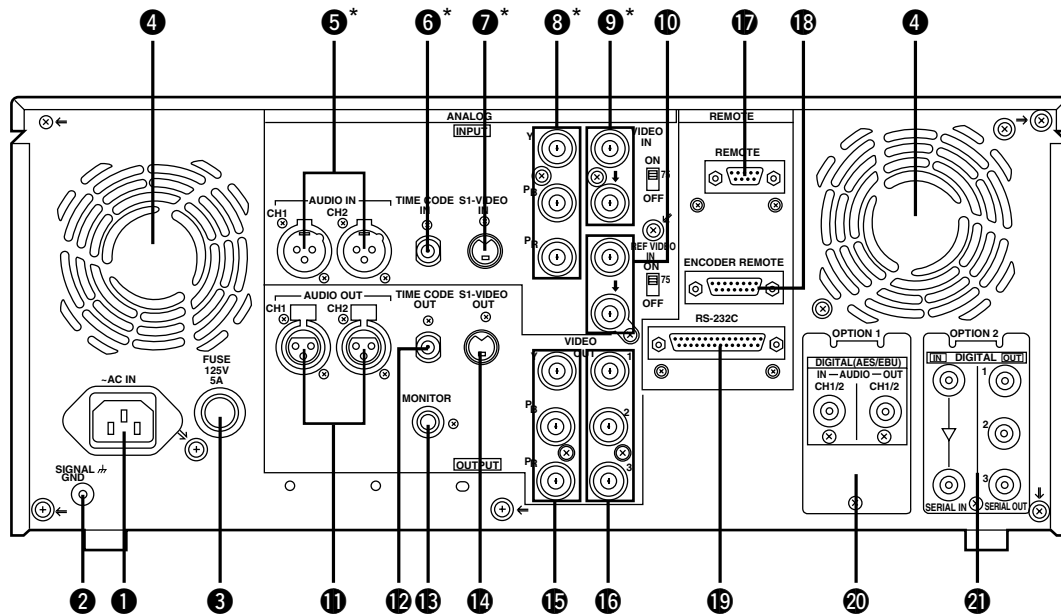
③4 REMOTE/LOCALスイッチ

REMOTE、RS-232C (オプション) の各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。

REMOTE : 9ピンのREMOTE もしくはRS-232C端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。

LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。

コネクタ部



* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

各部の名称と機能

コネクタ部

- ① AC IN コネクタ
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ
本機の冷却用のファンモータです。
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、カウンタ部にエラーコードが表示されます。
ワーニングの状態でも継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ ANALOG AUDIO IN端子*
アナログオーディオの入力端子です。
- ⑥ TIME CODE IN端子*
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。
- ⑦ S1-VIDEO IN端子*
S-VIDEO映像信号の入力端子です。
- ⑧ ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子*
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。
- ⑨ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ*
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑩ REF VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。
- ⑪ ANALOG AUDIO OUT端子
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑫ TIME CODE OUT端子
再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
- ⑬ MONITOR OUT端子
PCMオーディオ信号CH1/CH2、(もしくはCUEトラックからの再生信号)を出力します。

* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

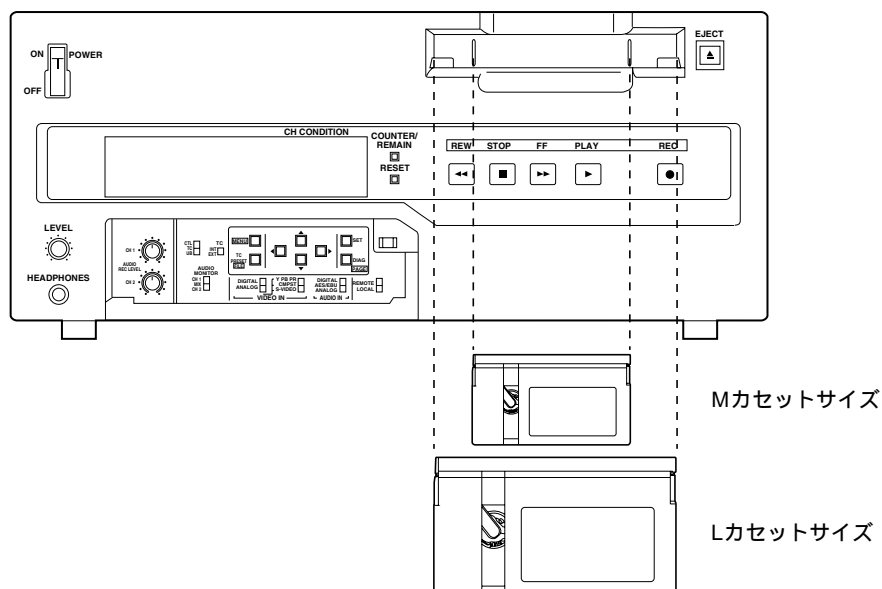
コネクタ部

- ⑭ S1-VIDEO OUT端子
S-VIDEO映像信号の出力端子です。
- ⑮ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。
- ⑯ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。
VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo.006 (SUPER) で選択します。
- ⑰ REMOTE端子
本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。
- ⑱ ENCODER REMOTE端子
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダ・コントローラを接続します。
- ⑲ RS-232C端子 (オプション)
- ⑳ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子 (オプション、AJ-YA655Pが必要)
AES/EBU規格に準拠した、デジタルオーディオ信号の入出力端子です。
< ノート >
AJ-D440では入力には動作しません。
- ㉑ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子
(オプション、AJ-YA750Pが必要)
SMPTE259M-C, 272M規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
デジタルオーディオ信号をAJ-YA750Pで出力するためには、AJ-YA655P (オプション) が必要になります。
< ノート >
AJ-D440では入力には動作しません。

テープ

タイプ	内容
民生用カセット (Sカセット)	民生用カメラレコーダ専用テープです。 カセットアダプタ（別売品、AJ-CS750P）を使用すれば、再生のみできます。ただし、長時間用カセットテープ（標準モード80分/LPモード120分）は使用できませんのでご注意ください。 なお、テープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。 「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと故障の原因となりますのでご注意ください。」
Mカセット	最大66分の記録・再生テープ (AJ-P12MP、AJ-P24MP、AJ-P33MP、AJ-P46MP、AJ-P66MP)
Lカセット	最大184分の記録・再生テープ (AJ-P34LP、AJ-P66LP、AJ-P94LP、AJ-P126LP、AJ-P184LP)

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。
カセットテープは自動的にローディングされます。



ノート

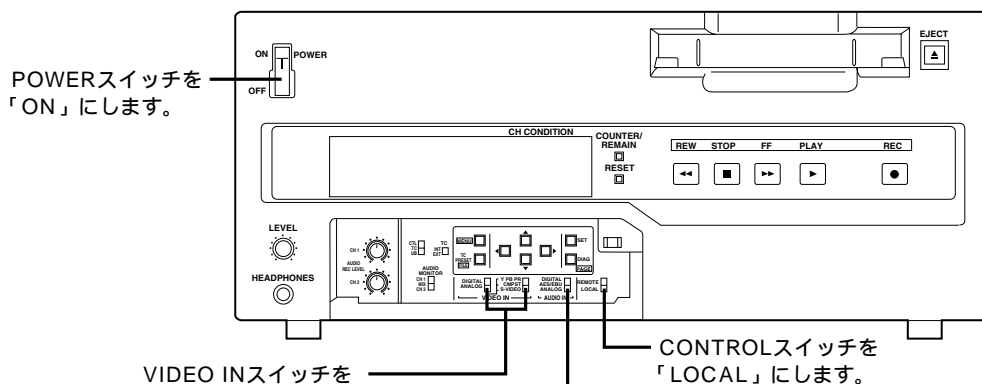
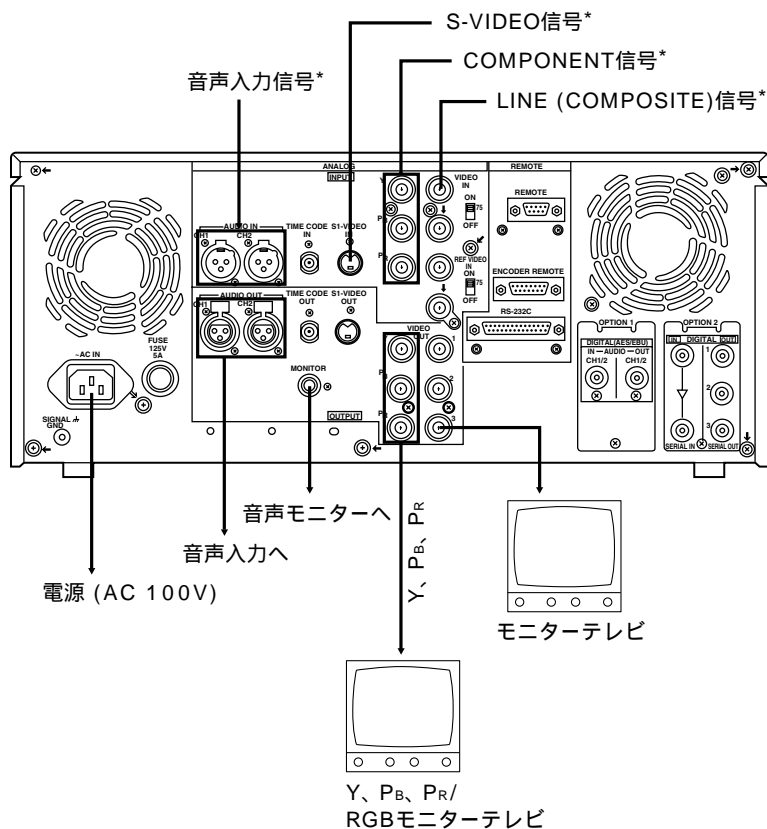
- AJ-P184LPカセットテープは、DVCPRO（25 Mbps）184分テープ対応VTRにてご使用ください。

民生DVテープの再生時のご注意

- 民生テープは再生のみご使用できます。
- LPモードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生テープに記録された素材を編集する時には、DVCPROのテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- 民生テープへの記録はできませんので、記録に関する機能、REC動作、TAPE/EE切り換え等民の動作は禁止しています。
- 民生テープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生テープのスローモーション再生はできません。
- テープ保護の観点から、民生テープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生テープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、また、STEP FWDモード時にSTILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。

本機1台で録画・再生する場合

CONTROLスイッチは、必ず「LOCAL」の位置にしておいてください。



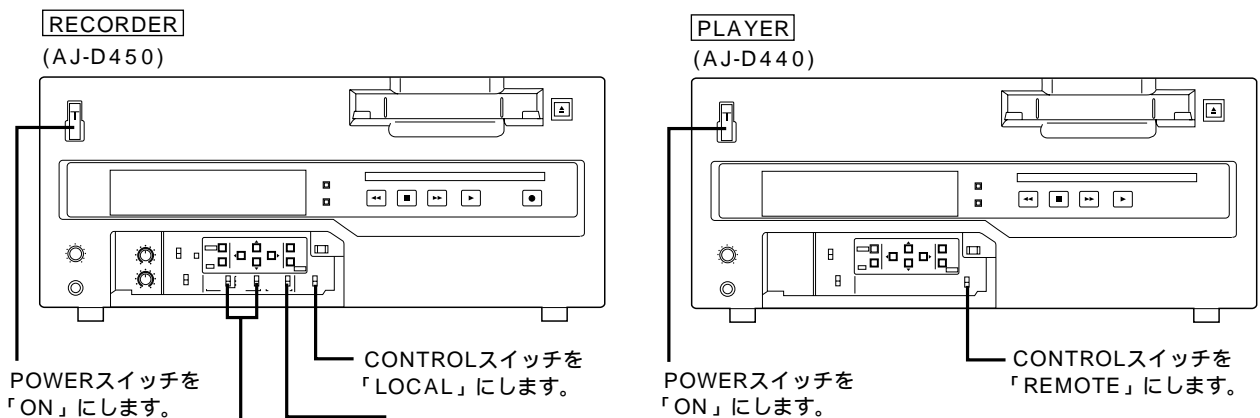
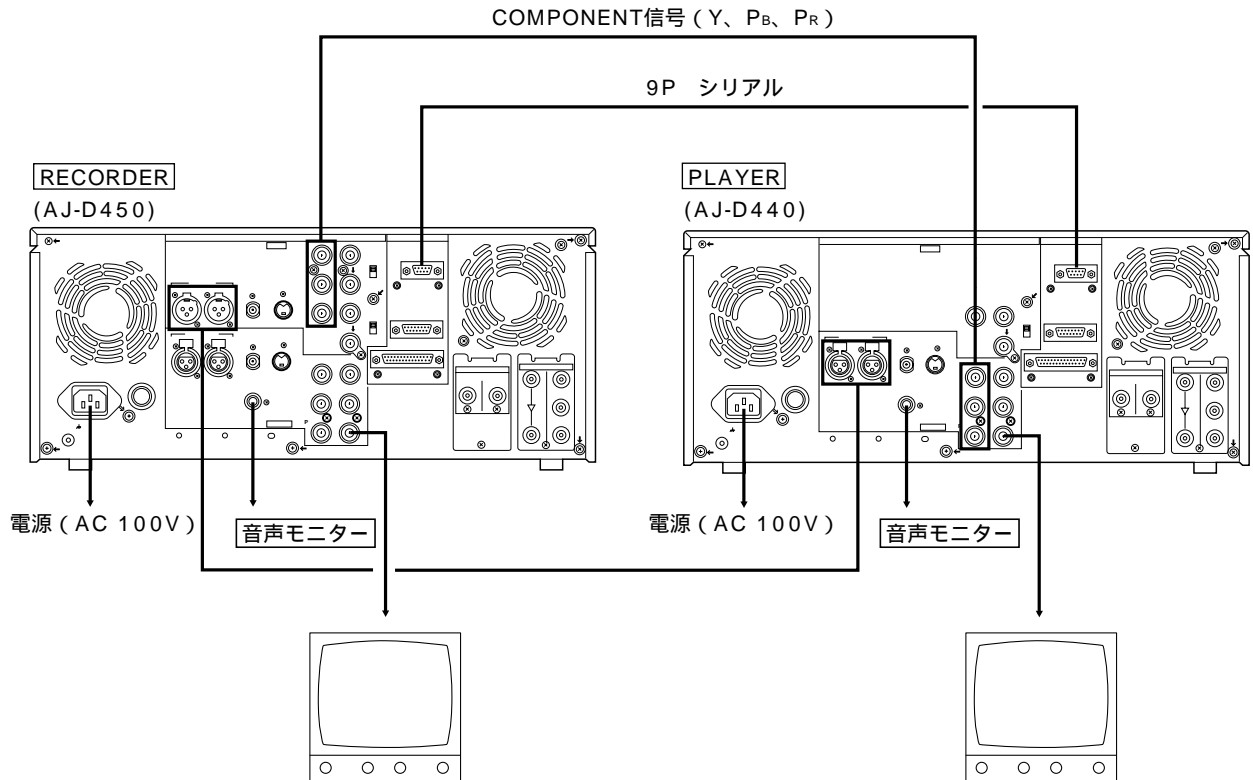
- VIDEO INスイッチを
- シリアルコンポーネントデジタルビデオ信号入力の場合は「DIGITAL」にします。
 - アナログビデオ信号入力の場合は「ANALOG」にし、入力信号によって次のように切替えます。
 - アナログコンポーネントビデオ信号のときは「Y、Pb、Pr」にします。
 - アナログコンポジットビデオ信号のときは「CMPST」にします。
 - S-VIDEO信号のときは「S-VIDEO」にします。*

- AUDIO INスイッチを
- シリアルデジタルオーディオ信号入力の場合は「DIGITAL」にします。
 - デジタルオーディオ信号入力の場合は「AES/EBU」にします。
 - アナログオーディオ信号のときは「ANALOG」にします。*

* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

2台で録画・再生・編集する場合 (デッキ対デッキ)

RECORDER側のCONTROLスイッチを「LOCAL」にし、PLAYER側のCONTROLスイッチを「REMOTE」にしてください。



VIDEO INスイッチを

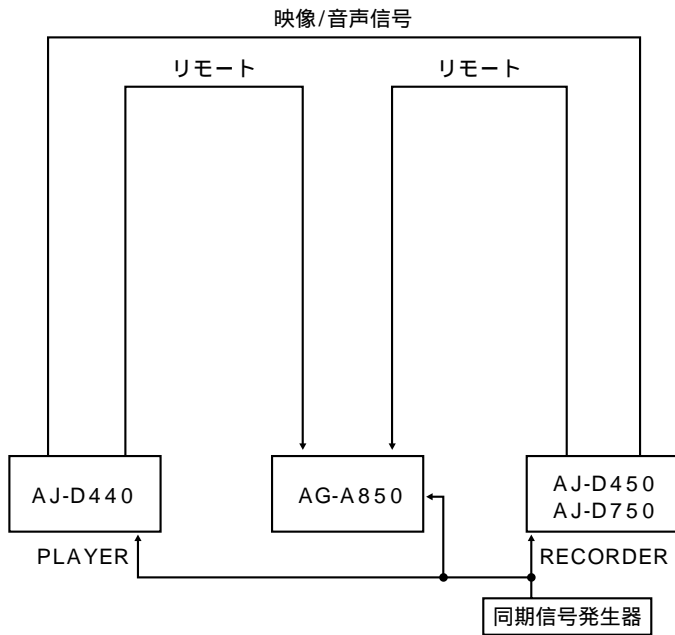
- シリアルコンポーネントデジタルビデオ信号入力の場合は「SERIAL IF」にします。
- アナログコンポーネントビデオ信号の場合は「Y、P_B、P_R」にします。アナログコンジットビデオ信号の場合は「CMPST」にします。

AUDIO INスイッチを

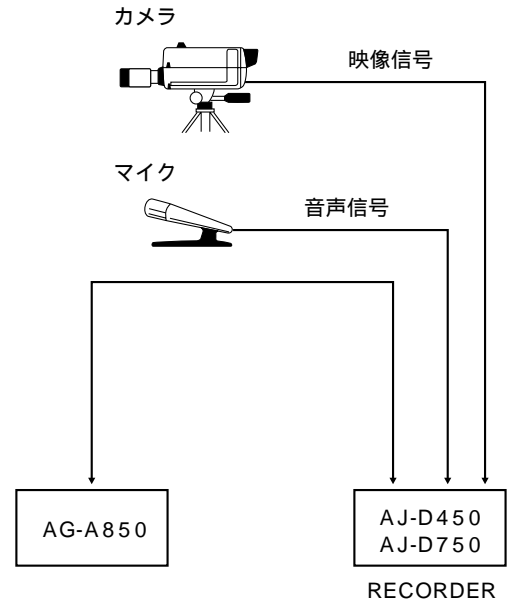
- シリアルデジタルオーディオ信号入力の場合は「SERIAL IF」にします。
- デジタルオーディオ信号入力の場合は「AES/EBU」にします。
- アナログオーディオ信号の場合は「ANALOG」にします。

編集コントローラを使用する場合

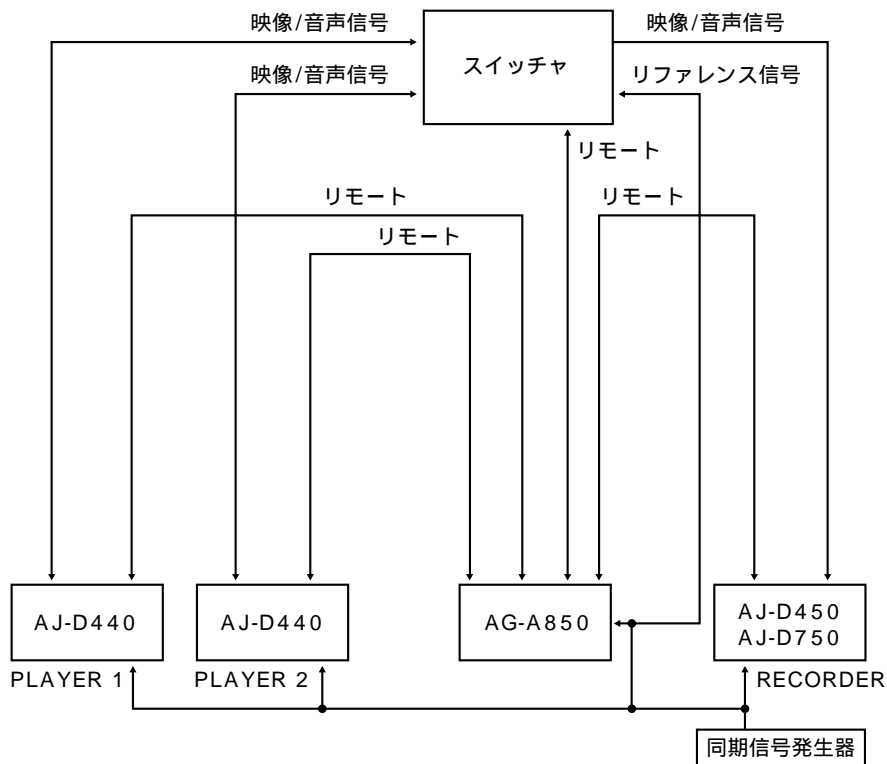
基本システム



カメラ/外部入力編集



2台の再生機を使つてのシステム (A/Bロール編集)



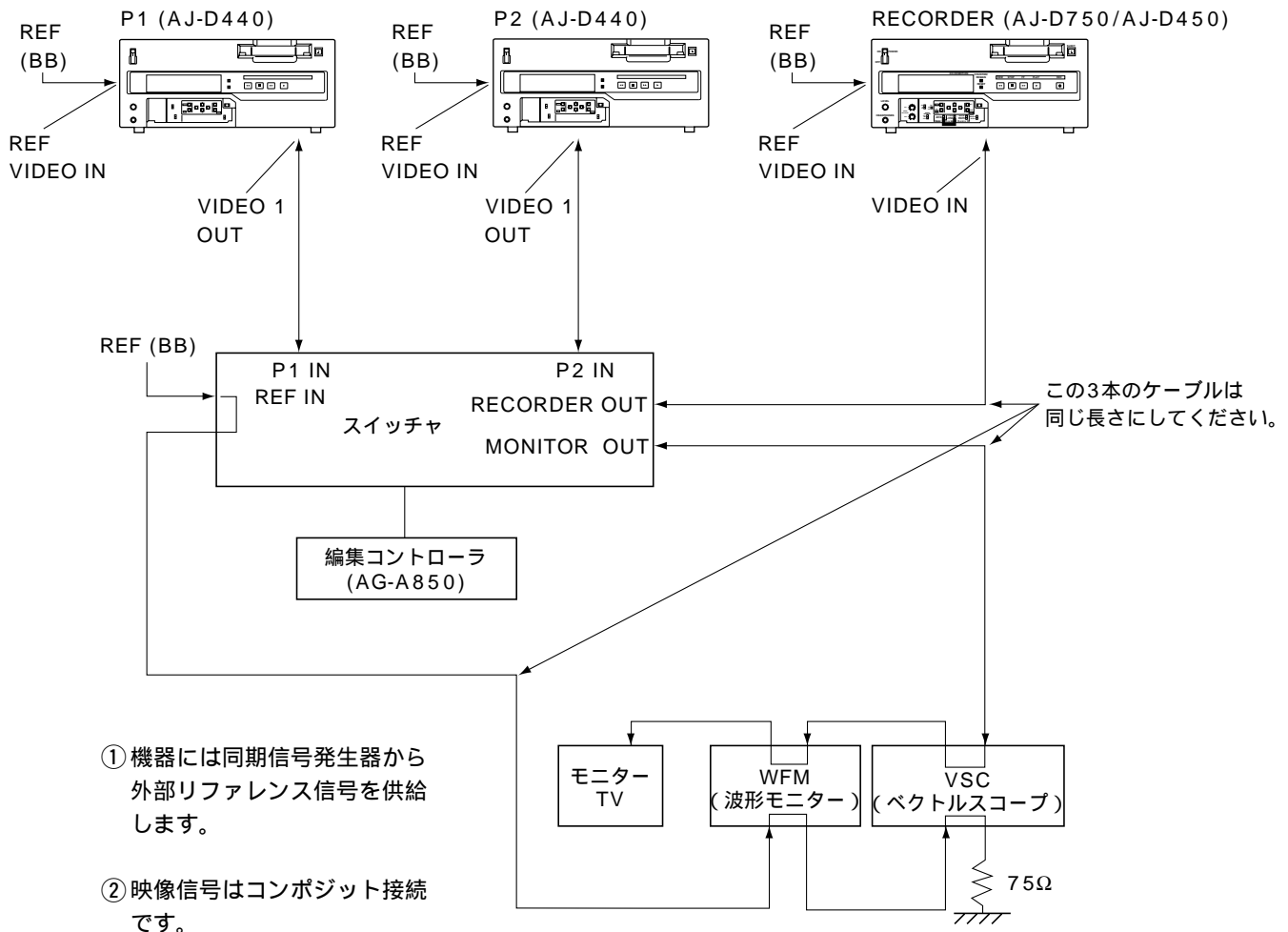
詳しくはエディティングコントローラAG-A850 (別売品) の取扱説明書をお読みください。

内部エンコーダの調整

編集機を使用したABロール編集（2台のソース機を使った編集方法）などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続にENCODER OUTを調整する必要があります。

（ENCODER OUTの調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。）

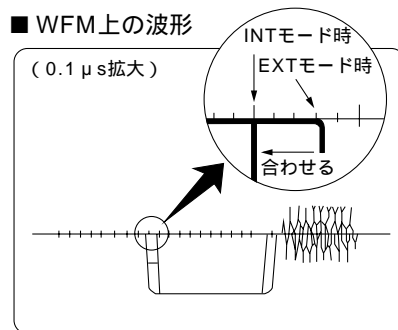
以下のように接続します。



ウェーブフォームモニタ、ベクトルスコープがない場合は、実際にモニタを見ながら、色ズレがなくなるように調整してください。

ビデオ出力信号（エンコーダー出力）の調整

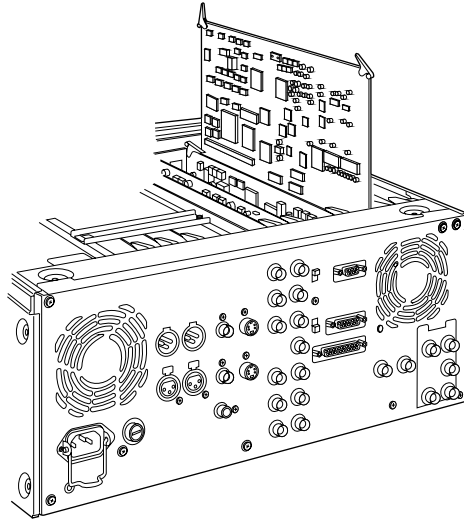
- 1 接続を確認します。
- 2 セットアップメニューのENCODER SELを「OFF」にします。（34ページ参照）
外部からの内部エンコーダを操作する場合は「ON」にします。
- 3 SYSTEM PHASEを調整します。。
 - 3-1 P1 VTRで標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
 - 3-2 P1 VTRのSYS PHASEを調整します。
ウェーブフォームモニター（WFM）で以下のように調整します。
 - 1）WFMはINTモードで、0.1 μ s拡大します。
 - 2）H SYNCの位置を確認します。
 - 3）そのままWFMをEXTモードにします。
 - 4）EXTモードで、H SYNCを先程の位置に合わせるようにセットアップメニューのSYSTEM PHASEをH、SC COARSE、SC FINEの順に調整します。



(SYNCの立ち下がりに着目)

- 4 接続しているP2 VTRを同じように調整します。

回路板



回路板	略称名	フルネーム	設定目的	初期設定
F8基板 ADDA- CUE*	SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH1のAUDIO入力インピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
	SW61	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH2のAUDIO入力インピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	HIGH
F4基板	SW400	コンポーネント PB/PR出力レベル 切替SW	コンポーネント信号で、編集機と接続する 場合に設定します。 MII : MIIのレベル BETA : -CAMのレベル	BETA

* マークの箇所はAJ-D450のみに適用されます。

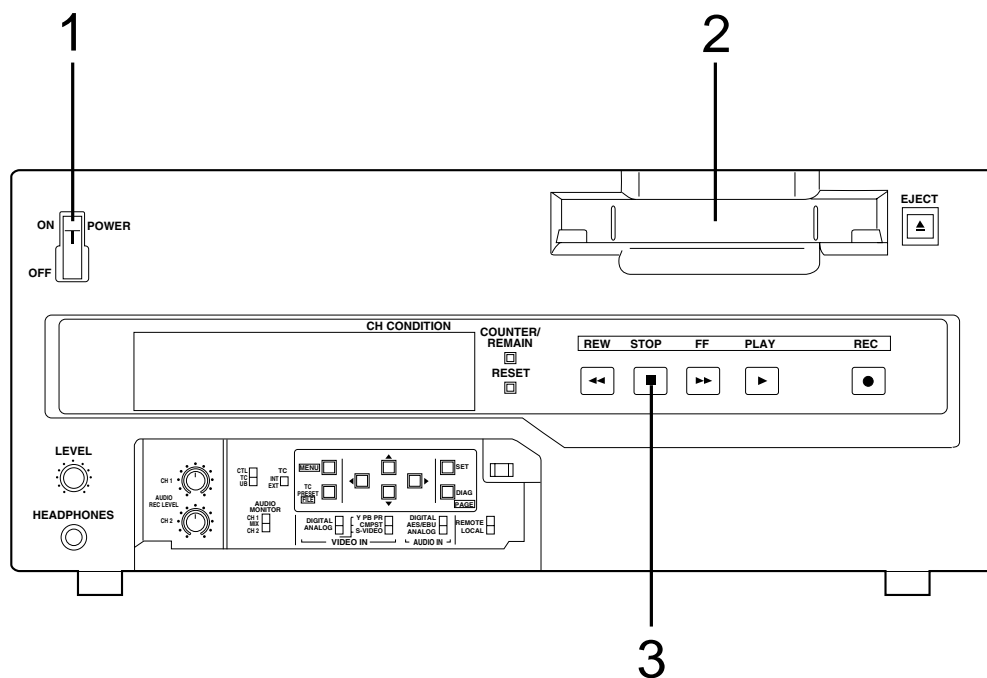
< ノート >

コンポーネントPB/PRの入力レベルの切替はセットアップメニューNo.600で行います。*

電源投入/カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
カウンタ部にエラー表示がないことを確認します。
- 2 カセットテープを挿入します。
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。（18ページ参照）
- 3 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にドラムが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。

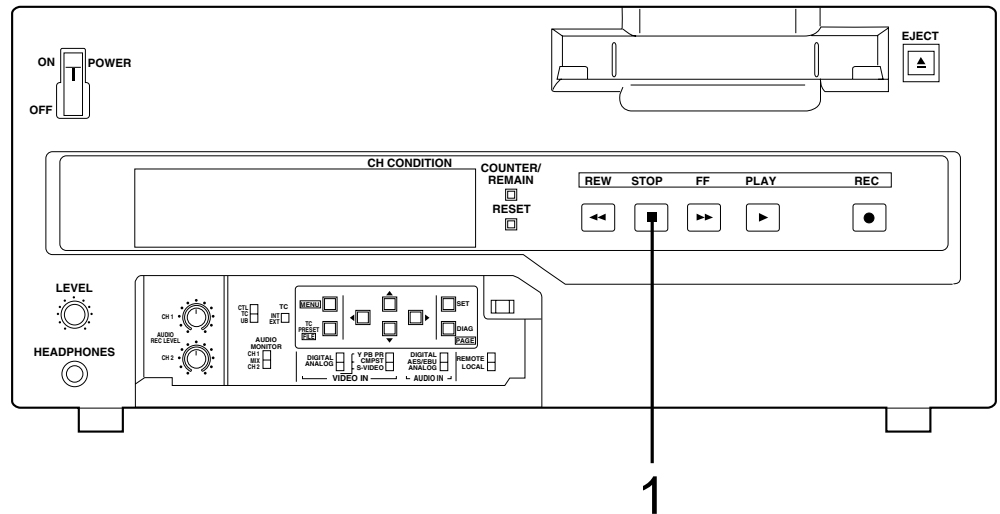


STOPモード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
 - テープ保護のため、セットアップメニューNo.400 (STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。

STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。



記録 (AJ-D450のみ)

- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 REC INHIBITランプの消灯を確認します。
- 4 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
 - 4-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
 - 1 記録する信号を接続します。
 - 2 フロントパネルのINPUT SELECTスイッチで入力信号を選択します。
 - 4-2 オーディオレベル調整

アナログオーディオ CH1/CH2のオーディオ入力信号レベルを調整します。
オーディオ信号はセンタークリック位置で適正なレベルで記録されます。
- 5 RECボタンを押しながら、PLAYボタンを押します。
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 6 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- 記録する音声と映像は再生画像に対して5フレームずれて記録されます。
例えば、再生画像を見ながらあるタイミングで音声を編集する時は、再生画像に対して記録する音声は5フレームずれた位置に記録されます。

再生

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
- 3 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。
モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

設定の変更

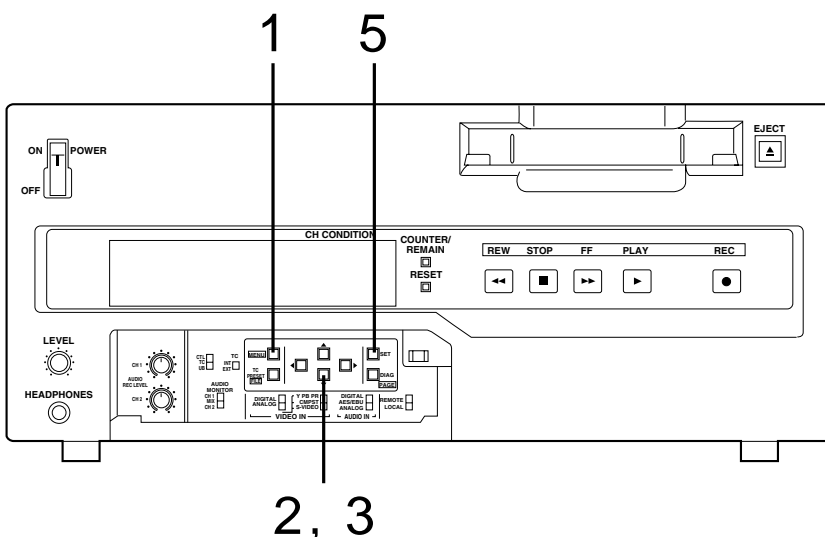
- 1 MENUボタンを押します。
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2 カーソル(▲、▼)ボタンを押して、設定する項目を選びます。
メニュー画面のカーソル(*)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
▼ボタンを押すとNo.が001 002 003 004のように増加し、▲ボタンを押すと減少します。
- 3 変更する位置で、カーソル(◀、▶)ボタンを押します。
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。
▶ボタンを押すと設定No.が増加し、◀ボタンを押すと減少します。
- 4 変更する項目がある場合、2~3を繰り返します。
- 5 SETボタンを押します。
変更した内容は記憶されます。
設定した内容を変更前に戻す場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。
 - セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

<ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記憶されません。

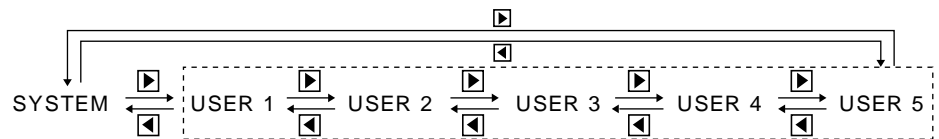


セットアップ（設定）メニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 FILEボタンを押しながらカーソル▶ボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。
FILEボタンを押しながらカーソル◀ボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決定すると、SETボタンを押します。
ユーザーファイルを変更して記憶します。

< ノート >

SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2 ~ USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30 (MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 FILEボタンを押しながら◀、▶ボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 ▲、▼ボタンを押して、メニュー画面中のカーソル (*) をシステムファイルはNo.30 (MENU LOCK) へ、ユーザーファイルはNo.A03 (MENU LOCK) へ移動します。
- 4 ◀、▶ボタンを押して、ロックモードの設定および解除を選択します。
ロック設定：設定値を0001 (ON) に設定します。
ロック解除：設定値を0000 (OFF) に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000 - 0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 CHARA H-POS	5
002 CHARA V-POS	23
003 DISPLAY SEL	T&STA
004 LOCAL ENA	ST&EJ
005 TAPE TIMER	±12h
006 SUPER	ON
007 CHARA TYPE	WHITE
101 SHTL MAX	X32

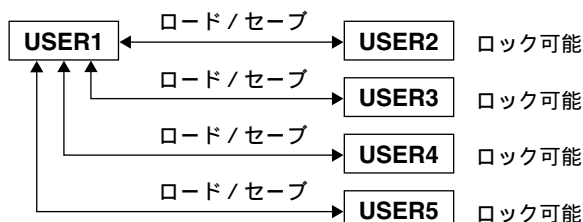
- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

< ノート >

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

セットアップメニュー

USER2～USER5の内容をUSER1へ複写（ロード）することができます。また、USER1の内容をUSER2～USER5へ複写（セーブ）することができます。



ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 FILEボタンを押しながら◀、▶ボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 ▲、▼ボタンを押して、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A00(LOAD)へ移動します。

```
SETUP-MENU MENU
<USER1> NO.A00 - 0000
725 CUE SLOW STEP
*A00 LOAD USER2
A01 SAVE USER2
A02 P.ON LOAD OFF
END
```

- 4 ◀、▶ボタンを押して、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU LOAD

USER2 USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
L U2 -U1
```

■の部分4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 ▲、▼ボタンを押して、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A00(LOAD)、No.A01(SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 FILEボタンを押しながら \leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、メニュー画面中のカーソル（*）をNo.A01（SAVE）へ移動します。

```
SETUP-MENU MENU
<USER1> NO.A00 - 0000
723 DV PB ATT OFF
A00 LOAD USER2
*A01 SAVE USER2
A02 P.ON LOAD OFF
END
```

- 4 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押して、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作はできません。

- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU SAVE

USER1 USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
S U1 -U2
```

\blacksquare の部分は4.の操作で選択されたユーザーファイルNO.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、メニュー画面中のカーソル（*）をNo.A00（LOAD）、No.A01（SAVE）以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02（P.ON LOAD）にてロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

セットアップ (設定) メニュー

SYSTEMメニュー

< SYSTEM >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
00	SYS SC COAR.	0000 0001 0002 0003	<u>0</u> 90 180 270	システム位相粗調整：90°単位 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
01	SYS SC FINE	0000 ゝ 0127 ゝ 0255	- 127 ゝ <u>0</u> ゝ 128	システム位相微調整：トータル可変範囲±90°以上 -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
02	SYS H	0000 ゝ 0112 ゝ 0224	- 112 ゝ <u>0</u> ゝ 112	システム位相調整：±2μsec (SC周期単位) -：進み +：遅れ <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
03	ENCODER SEL	0000 0001	<u>OFF</u> ON	ENCODER端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
10	AV PHASE	0000 ゝ 0128 ゝ 0255	- 128 ゝ <u>0</u> ゝ 127	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 ：20.8μsステップ -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。
30	MENU LOCK	0000 0001	<u>OFF</u> ON	システムファイルのロックモードの設定 / 解除を選択します。 0：ロック解除 (変更可能) 1：ロック設定 (変更禁止)

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< BASIC >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000 ゝ 0005 ゝ 0015	OS ゝ 5S ゝ 15S	プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。 <ノート> AJ-D450の場合、外部コントローラからの自動編集 [PREVIEW、AUTO EDITコマンド]時はプリロール時 間が0秒に設定されていると動作しません。
001	CHARA H-POS	0000 ゝ 0005 ゝ 0012	0 ゝ 5 ゝ 12	VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の 水平方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3へ出力します。但し、 MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従 います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で VIDEO OUT 3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す 場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出 ない位置に表示します。
002	CHARA V-POS	0000 ゝ 0018 ゝ 0022	0 ゝ 18 ゝ 22	VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の 垂直方向文字位置を設定します。 <ノート> 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3へ出力します。但し、 MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従 います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で VIDEO OUT 3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す 場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出 ない位置に表示します。
003	DISPLAY SEL	0000 0001 0002	TIME T&STA T&S&M	VIDEO OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の 表示内容を選択します。 0： 時間のみ 1： 時間および動作モード 2： 時間、動作モードおよびモード <ノート> モード表示は、DVCPROフォーマット時は、DVCPRO MODE表示、DVフォーマット時は、DV MODE表示、ワ ーニング、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。
004	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロ ントパネルで操作可能なボタンを選択します。 0： 全て不可 1： STOP、EJECTボタンのみ可能 2： 全て可能
005	TAPE TIMER	0000 0001	±12h 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0： 12時間表示 1： 24時間表示
006	SUPER	0000 0001	OFF ON	VIDEO OUT 3端子にタイムコード等のスーパー表示を 行うかどうかを選択します。 0： 表示しません。 1： 表示します。
007	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	VIDEO OUT 3端子のスーパーおよび、セットアップメ ニュー等の表示タイプを選択します。 0： 白文字で、背景は黒 1： 白文字で、黒のふちどり

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X16 X32 X60	シャトル動作の最大速度を設定します。 0： X16倍速 1： X32倍速 2： X60倍速 <ノート> DVフォーマットの場合は、「X60」を選択した場合でもX32になります。
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002	X32 X60 X100	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0： X32倍速 1： X60倍速 2： X100倍速 <ノート> DVフォーマットの場合は、本設定に関係なくX32になります。
103	AUDIO MUTE	0000 0001	OFF ON	STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。 0： 音声が出力されるまでの時間が短くなります。 1： 完全な状態になってから音声を出力します。 <ノート> 0 (OFF) に設定した場合、出力される最初の部分は不完全な音になるため、放送用に使用することはおすすめてできません。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0： 表示しません。 1： STOPランプを点滅させることで警告表示します。
106	PLAY DELAY	0000 0015	0 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
107	CAP.LOCK	0000 0001	2F 4F	キャプスタンロックモードを選択します。 0： 2Fモード 1： 4Fモード
108	FORMAT SEL	0000 0001	DVCPRO DV	Lカセット使用時のフォーマットを選択します。 0： DVCPROモード 1： DVモード <ノート> 選択したフォーマットと逆のテープを挿入すると、再生以外に以下の不具合があるため、ご注意ください。 1. DVCPROモード選択で、DVカセットを挿入すると、記録動作を行います。 また、性能等の保証もできません。 逆にDVモード選択で、DVCPROカセットを挿入すると、記録できません。 2. REMAIN表示が正確に出ません。 3. テープ始末端近傍でのスローダウン位置が正確に出ません。 4. その他、フォーマットの異なるテープを挿入した場合、性能等の保証はできません。
109*	EJECT EE SEL	0000 0001	EE BLACK	EJECT時、EEモードにするかブラックにするかを選択します。 0： EEモード 1： 映像系はブラック、音声系はミュートになります。

___ は工場出荷モードです。

<ノート> アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

USERメニュー

< OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
110*	F/R EE SEL	0000 0001	___ EE ___ TAPE	FF/REW時、EEモードにするか再生モードにするかを選択します。 0： EEモード 1： 再生モード
111*	STOP EE SEL	0000 0001	___ EE ___ TAPE	STOP時、EEモードにするか再生モードにするかを選択します。 0： EEモード 1： 再生モード <ノート> STAND-BY OFFモードは上の選択に従います。ただし、TAPEを選択している時は、映像系はグレーになります。
112	AUTO REW	0000 0001	___ OFF ___ ON	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0： テープ終端で停止します。 1： テープ始端まで巻き戻します。
113	MEMORY STOP	0000 0001	___ OFF ___ ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0： VTRは停止しません。 1： VTRは自動的に停止します。 <ノート> 1. 停止モードは、セットアップメニューNo.313(AFTER CUE-UP)の設定により停止または静止画(SHLT STILL)モードとなります。 2. AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。
114*	REC INHIBIT	0000 0001	___ OFF ___ ON	カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。 0： カセットの誤消去防止機構が記録可の時に、カセットテープへの記録が可能です。 1： カセットテープへの記録を禁止します。この時、フロントのREC INHランプが点灯します。
115	STOP RESPNS	0000 0001	___ NORMAL ___ QUICK	テープ走行中からSTOP/STILLモードへ移行する際の応答性を選択します。 0： 出力画を重視します。 1： 応答性を重視します。 <ノート> 1 (QUICK) の設定の場合、STOP/STILL時に • 0 (NORMAL) 設定のようなきれいな画像にはならない場合があります。 • CTLが±2フレームずれることがあります。

___ は工場出荷モードです。

<ノート>

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

< INTERFACE >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
201	9P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
202	ID SEL	0000 0001	OTHER DVCPRO	コントローラに返すID情報を選択します。 0：20 25H 1：DVCPROの独自のID (F0 33H) を返します。
204	RS232C SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCAL SWがREMOTEのとき、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0：機能しません。 1：機能します。
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 0005	300 600 1200 2400 4800 9600	RS-232Cの通信速度（ボーレート）を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 0001	7 8	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位：BIT)
207	STOP BIT	0000 0001	1 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位：BIT)
208	PARITY	0000 0001 0002	NON ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0：パリティビットを使用しない。 1：パリティビットを奇数パリティで使用する。 2：パリティビットを偶数パリティで使用する。
209	RETURN ACK	0000 0001	OFF ON	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0：ACKコードを返信しない。 1：ACKコードを返信する。

___ は工場出荷モードです。

USERメニュー

< EDIT >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
303*	STD/ NON-STD	0000 0001 0002	— AUTO STD N-STD	コンボジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。 0：スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。 1：スタンダード信号処理を行います。（強制STD） 2：ノンスタンダード信号処理を行います。（強制NON-STD）
304*	SERVO REF	0000 0001	— AUTO EXT	サーボの同期する信号を選択します。 0：記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 1：常にREF信号に同期します。
305*	EDIT RPLCE1	0000 0001 0002 0003	N-DEF — CH1 CH2 CH1 + 2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能の無いコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
306*	EDIT RPLCE2	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 — CH2 CH1 + 2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能の無いコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。
307*	EDIT RPLCEC	0000 0001 0002 0003	— N-DEF CH1 CH2 CH1 + 2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能の無いコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCUEのエディットプリセットをエディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1、またはCH2エディットプリセットに従います。

— は工場出荷モードです。

< ノート >

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

<EDIT> (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
309*	AUD EDIT IN	0000 0001	CUT FADE	デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
310*	AUD EDIT OUT	0000 0001	CUT FADE	デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
313	AFTER CUE-UP	0000 0001	STOP STILL	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0: STOPモードになります。 1: 静止画 (SHTL STILL) モードになります。
315*	AUD MEM UNIT	0000 0001 0002 0003	OFF MODE1 MODE2 MODE3	オーディオメモリーユニットAJ-YA752との接続を選択します。 0: オーディオメモリーユニットを使用しない場合 1: ヴォイスオーバーを行う場合 2: CH2に対してオーディオクロスチャンネル編集を行う場合 3: CH1に対してオーディオクロスチャンネル編集を行う場合 <ノート> ● 0 (OFF) 以外の設定の場合、RS232Cインターフェイス (オプション) は機能しません。 ● 各モードの使用方法はオーディオメモリーユニットAJ-YA752の取扱説明書をご参照ください。
316	VAR STEP	0000 0001	FINE COARSE	リモート操作時のVARの速度を選択します。 0: 細かいステップの速度で再生します。 1: -0.43 ~ +1 (-0.5 ~ +1) 倍速の範囲はノイズレス再生可能な速度で再生します。 <ノート> ● () 内はDVモードの場合の速度です。 ● 1 (COARSE) の設定では編集コントローラからの調相ができません。
317	VAR FWD MAX	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	+ 4.1 + 1.85 + 1 + 0.75 + 0.5 + 0.3 + 0.2 + 0.1 + 0.03	VAR FWDの最大速度を設定します。 0: + 4.1 (+ 3.1) 倍速 1: + 1.85 (+ 1.85) 倍速 2: + 1 (+ 1) 倍速 3: + 0.75 (+ 0.5) 倍速 4: + 0.5 (+ 0.5) 倍速 5: + 0.3 (+ 0.3) 倍速 6: + 0.2 (+ 0.2) 倍速 7: + 0.1 (+ 0.1) 倍速 8: + 0.03 (+ 0.03) 倍速 <ノート> ● () 内はDVモードの場合の速度です。 ● 0 (+ 4.1) 以外の設定では編集コントローラからの調相ができません。

___ は工場出荷モードです。

<ノート>

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

USERメニュー

<EDIT> (つづき)

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
318	VAR REV MAX	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	<u> </u> - 4.1 - 1.85 - 1 - 0.43 - 0.3 - 0.2 - 0.1 - 0.03	VAR REVの最大速度を設定します。 0: - 4.1 (- 3.1) 倍速 1: - 1.85 (- 1.85) 倍速 2: - 1 (- 1) 倍速 3: - 0.43 (- 0.5) 倍速 4: - 0.3 (- 0.3) 倍速 5: - 0.2 (- 0.2) 倍速 6: - 0.1 (- 0.1) 倍速 7: - 0.03 (- 0.03) 倍速 <ノート> ()内はDVモードの場合の速度です。
319	JOG STEP	0000 <u>0001</u>	FINE <u> </u> COARSE	リモート操作時のJOGの速度を選択します。 0: 細かいステップの速度で再生します。 1: - 0.43 ~ +1 (- 0.5 ~ +1) 倍速の範囲はノイズ レス再生可能な速度で再生します。 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • 1 (COARSE) の設定ではJOGコマンドにより調相を 行う編集コントローラからの調相ができません。
320	JOG FWD MAX	0000 0001 <u>0002</u>	+ 4.1 + 1.85 <u> </u> + 1	JOG FWDの最大速度を設定します。 0: + 4.1 (+ 3.1) 倍速 1: + 1.85 (+ 1.85) 倍速 2: + 1 (+ 1) 倍速 <ノート> • ()内はDVモードの場合の速度です。 • 0 (+ 4.1) 以外の設定ではJOGコマンドにより調相を 行う編集コントローラからの調相ができません。
321	JOG REV MAX	0000 0001 0002 <u>0003</u>	- 4.1 - 1.85 - 1 <u> </u> - 0.43	JOG REVの最大速度を設定します。 0: - 4.1 (- 3.1) 倍速 1: - 1.85 (- 1.85) 倍速 2: - 1 (- 1) 倍速 3: - 0.43 (- 0.5) 倍速 <ノート> ()内はDVモードの場合の速度です。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOPの状態では置かれた時、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分) < ノート > 民生DVテープを使用する時は、10s以上選択しても10sで処理されます。 ただし、選択画面上は2minまで動作します。
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	20s	
		0004	30s	
		0005	40s	
		0006	50s	
		0007	1min	
0008	2min			
401	SRC PROTECT	0000	STEP	No.400の保護モードでSTILLの状態では置かれた時のテープ保護モード時の動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態では置かれた合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	STNDBY OFFモード時のドラムの動作を選択します。 0 : ドラムの回転は停止します。 1 : ドラムは回転を続けます。
		0001	ON	
403	STOP PROTECT	0000	STEP	STOPの状態では置かれた時のテープ保護モード時の動作を選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING < ノート > STEP FWDが選択されている時に、STOPの状態では置かれた合計時間が30分 (DVテープの場合は1分) になると、自動的にHALF LOADINGモードへ移行します。
		0001	HALF	

___ は工場出荷モードです。

STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護の観点から、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えば、最大30秒程度に設定してください。

USERメニュー

< TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC POS-1	0000	10L	VITC信号の挿入位置を設定します。 (501: VITC POS-2と同じラインは選択できません。)
		0001	11L	
		0002	12L	
		0003	13L	
		0004	14L	
		0005	15L	
		<u>0006</u>	<u>16L</u>	
		0007	17L	
		0008	18L	
		0009	19L	
		0010	20L	
501	VITC POS-2	0000	10L	VITC信号の挿入位置を設定します。 (500: VITC POS-1と同じラインは選択できません。)
		0001	11L	
		0002	12L	
		0003	13L	
		0004	14L	
		0005	15L	
		0006	16L	
		0007	17L	
		<u>0008</u>	<u>18L</u>	
		0009	19L	
		0010	20L	
502	VITC BLANK	0000	BLANK	500: VITC POS-1、501: VITC POS-2で選択された位置にVITCデータを出力するかどうかを選択します。 0: 出力しません。 1: 出力します。
		<u>0001</u>	<u>THRU</u>	
503*	TCG REGEN	<u>0000</u>	<u>TC&UB</u>	TCG (タイムコードジェネレータ) がREGENモードの時、REGENする信号を選択します。 0: タイムコード、ユーザービット共にREGENします。 1: タイムコードのみREGENします。 2: ユーザービットのみREGENします。
		0001	TC	
		0002	UB	
504*	REGEN MODE	<u>0000</u>	<u>OFF</u>	内蔵タイムコードジェネレータを、フロントパネルまたはリモートコントローラからのプリセット値にするか、テープから読んだタイムコードリーダ値に同期させるかを選択します。 0: フロントパネルまたはリモートコントローラからのプリセット値にします。(PRESET) 1: テープから読んだタイムコードリーダ値に同期させます。(REGEN) <ノート> “1”を選択している時、REGENする対象はセットアップメニューNo.503 (TCG REGEN) で選択されたものとなります。
		0001	ON	
505*	EXT TC SEL	<u>0000</u>	<u>LTC</u>	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します 0: TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 1: ビデオ信号のVITCを使用します。
		0001	VITC	

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

< TIME CODE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
506*	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	___ 000 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 1 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 2 : UNASSIGNED 1 (未定義) 3 : UNASSIGNED 2 (未定義) 4 : UNASSIGNED 3 (未定義) 5 : PAGE/LINE 6 : UNASSIGNED 4 (未定義) 7 : UNASSIGNED 5 (未定義)
507	PHASE CORR	0000 0001	___ OFF ON	TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0 : 位相補正コントロールは行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
508*	TCG CF FLAG	0000 0001	___ OFF ON	TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。 0 : CFフラグをOFFします。 1 : CFフラグをONします。
509	DF MODE	0000 0001	___ DF NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0 : ドロップフレームモード 1 : ノンドロップフレームモード < ノート > DF MODEはLOCALまたは項目004のLOCAL ENAが「ENA」の時有効です。
510*	RUN MODE	0000 0001	___ REC FREE	タイムコードジェネレータの歩進モードを選択します。 0 : 記録中のみジェネレータが歩進します。 1 : 常時ジェネレータが歩進します。 < ノート > “ 0 ”を選択しても、セットアップメニューNo.504(REGEN MODE)を“ 1 ”にしている場合は、常時ジェネレータが歩進します。
511*	TC OUT REF	0000 0001	___ V OUT TC IN	TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。(EEモード時のみ) 0 : 出力映像に合わせます。 1 : 外部タイムコード入力に合わせます。

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

USERメニュー

< VIDEO >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600*	PB/PR IN LV	0000 0001	MI B-CAM	コンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0： MIIレベル 1： -camレベル
601*	INT BB SIG	0000 0001	OFF BB	内蔵のブラックバースト信号を発生させるかどうかを選択します。 0： 発生させません。 1： 発生させます。
602*	INPUT C KILL	0000 0001	B/W AUTO	ビデオ入力信号のカラーキラー処理を選択します。 0： 強制的にB/W処理を行います。 1： 自動処理を行います。
603*	OUT VSYNC	0000 0001	N-VF VF	EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 0： フロートさせません。 1： フロートさせます。
604	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW_RF	再生中にテープのブランク部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0： ミュートしません。(フリーズする) 1： ミュート(灰色にする)
605	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。 0： 強制ブランキングします。 1： ブランキングしません。
606	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプチャ信号のON/OFFを選択します。 0： 強制ブランキングします。 1： ブランキングしません。
608	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0： フィールドフリーズ 1： フレームフリーズ <ノート> フレームフリーズ選択時はスローモーション時もフレームフリーズになります。
611	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアルアウトにEDHを重畳するかどうかを選択します。 0： 重畳しません。 1： 重畳します。 • シリアルオプション装着時は有効になります。

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

<VIDEO> (つづき)

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
612	WIDE SELECT	0000 0001 0002	— AUTO WIDE NORMAL	<p>WIDE情報に対する動作を選択します。</p> <p>0：記録時、Y/C入力信号にWIDE情報があるとテープにWIDE情報を記録します。 再生時、テープにWIDE情報があると、Y/C出力信号にWIDE情報を付けます。</p> <p>1：記録時、Y/C入力信号のWIDE情報に関係なく、テープにWIDE情報を記録します。 再生時、テープのWIDE情報に関係なく、Y/C出力信号にWIDE情報を付けます。 強制WIDE ON</p> <p>2：記録時、Y/C入力信号のWIDE情報に関係なく、テープにWIDE情報を記録しません。 再生時、テープのWIDE情報に関係なく、Y/C出力信号にWIDE情報を付けません。 強制WIDE OFF</p> <p><ノート> 本項目が有効になるのは、 記録時：記録の開始時 再生時：常時 のため、記録中に選択を変更した場合、メニューの内容は変更されますが、実際の動作は変更されません。</p>

— は工場出荷モードです。

USERメニュー

< AUDIO >

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700*	CH1 IN LV	0000 <u>0001</u> 0002 0003	4 dB 0 dB - 20 dB - 60 dB	オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。
701*	CH2 IN LV	0000 <u>0001</u> 0002 0003	4 dB 0 dB - 20 dB - 60 dB	オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。
703	CH1 OUT LV	0000 <u>0001</u> 0002	4 dB 0 dB - 20 dB	オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切換えを選択します。
704	CH2 OUT LV	0000 <u>0001</u> 0002	4 dB 0 dB - 20 dB	オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切換えを選択します。
713	MONI CH SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO 1</u> AUTO 2 AUTO 3 AUTO 4	<p>モニター出力の選択を行います。</p> <p>0 : - 0.43 (- 0.5) 倍速から +1 倍速の範囲はPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。</p> <p>1 : PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。</p> <p>2 : PLAYモードはPCM AUDIO、- 0.43 (- 0.5) 倍速から +1 倍速の範囲はQUICK PCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。</p> <p>3 : - 0.2 倍速から + 0.2 倍速の範囲はQUICK PCM AUDIO、- 1 倍速から - 0.2 倍速と + 0.2 倍速から + 1 倍速までの範囲は (ただし、- 0.2 倍速と + 0.2 倍速は含まず) PCM AUDIO、それ以外は自動的にCUEを出力します。</p> <p>< ノート ></p> <p>1. 上記の速度範囲の () 内は、DVフォーマットの場合です。</p> <p>2. PCM AUDIOは、AUDIO MONITOR SELECT SW の設定に従い、CH 1 or CH 2 or MIX (CH 1 + CH 2) となります。</p> <p>3. QUICK PCM AUDIOとは、スロー再生時に映像と音声の位相を合わせることに重点を置いた再生モードで、映像フレームが更新する毎に、1 倍速の音声を 1 フレーム分ずつ再生するモードになります。 (通常のPCM AUDIOのスロー再生は、音声を引き延ばし処理するために、映像より遅れて再生されます。)</p>
714*	REC CH1	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH1</u> CH2 CH1 + 2	オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
715*	REC CH2	0000 <u>0001</u> 0002	CH1 <u>CH2</u> CH1 + 2	オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

アスタリスク (*) のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

セットアップメニュー

USERメニュー

< AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
716*	REC CUE	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1 + 2	CUEに記録する入力信号を選択します。 0：セットアップメニューNo.714で選択された信号が記録されます。 1：セットアップメニューNo.715で選択された信号が記録されます。 2：セットアップメニューNo.714とNo.715で選択されたミックス信号が記録されます。
718	DV OUTPUT	0000 0001 0002	ST1 ST2 ST1 + 2	DVフォーマット再生時、AUDIO CH1、CH2の出力を選択します。 0：CH1トラックをCH1に、CH2トラックをCH2に出力します。（撮影時の音声のみを出力します。） 1：CH3トラックをCH1に、CH4トラックをCH2に出力します。（アフレコの音声のみを出力します。） 2：CH1トラックとCH3トラックのミックスをCH1に、CH2トラックとCH4トラックのミックスをCH2に出力します。（撮影時の音声とアフレコの音声を同時に出力します。） <ノート> DVフォーマットの4ch記録済テープの再生時のみ有効です。
719	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点（IN点、OUT点）の処理をどのように行うかを選択します。 0：記録時の状態に従います。（セットアップメニューNo.309、310） 1：強制CUT 2：強制FADE
720	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0：重畳しません。 1：重畳します。 <ノート> シリアルインターフェイスボード（オプション）とデジタルオーディオインターフェイスボード（オプション）装着時のみ有効です。
721	LINE CH SEL	0000 0001	PCM AUTO	オーディオ出力（LINE OUT）の選択を行います。 0：PCM AUDIOまたは、QUICK PCM AUDIOを出力します。 1：セットアップメニューNo.713（MONI CH SEL）で選択されたものを出力します。 <ノート> オーディオ出力のPCM AUDIOまたは、QUICK PCM AUDIOはAUDIO MONITOR SELECT SWIに影響されず、CH1とCH2が独立に出力されます。
722*	INT SG	0000 0001	OFF ON	オーディオ入力信号に、内部信号を使用するかどうかを選択します。 0：内部信号を選択しません。 1：内部信号を選択します。 <ノート> 内部信号は、1kHzです。

— は工場出荷モードです。

<ノート>

アスタリスク（*）のついたセットアップメニューは、AJ-D450のみに表示されます。

USERメニュー

< AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
723	DV PB ATT	0000 0001	OFF ON	DVフォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0：オーディオ出力レベルをアッテネートしません。 1：オーディオ出力レベルをアッテネート(低減)します。 <ノート> カセットテープのサイズによって、設定は以下のようになります。 1：Lカセット使用時；セットアップメニューNo.108 (FORMAT SEL)が「DV」を選択している時のみ、本設定が有効になります。 2：Mカセット使用時；本設定は無効になります。 3：Sカセット使用時；本設定は有効になります。
725	CUE SLOW	0000 0001	STEP LINEAR	SLOW再生時のテープ走行状態 (CUEトラック再生状態) を選択します。 0：出力画を優先し、STEP送りを行います。 1：CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。 <ノート> 1 (LINEAR) に設定した場合、 <ul style="list-style-type: none"> STEPモードのようなきれいな画像にはなりません。 CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー

< MENU >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	USER1へロードするユーザーファイルの選択します。 0： USER2の内容をロードします。 1： USER3の内容をロードします。 2： USER4の内容をロードします。 3： USER5の内容をロードします。 < ノート > ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。 0： USER2へセーブします。 1： USER3へセーブします。 2： USER4へセーブします。 3： USER5へセーブします。 4： すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。 < ノート > ● 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ● すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。 0： 前回設定したユーザーファイルで起動します。 1： USER2の内容をUSER1へロードし起動します。 2： USER3の内容をUSER1へロードし起動します。 3： USER4の内容をUSER1へロードし起動します。 4： USER5の内容をUSER1へロードし起動します。
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	ユーザーファイル (USER2 ~ USER5) のロックモードの設定 / 解除を選択します。 0： ロック解除 (変更可能) 1： ロック設定 (変更禁止) < ノート > USER1のロック設定はできません。

___ は工場出荷モードです。

< ノート >

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P.ON LOAD) はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2 ~ USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) はUSER2 ~ USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

タイムコード/ユーザービットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに表示します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生（約100倍速）まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

<ノート>

スーパーインポーズには常にタイムコードリーダーの値が表示されます。

フロントディスプレイには以下のように表示されます。

再生時 : タイムコードリーダーの値

記録、EE時 : タイムコードジェネレータの値

再生中でもRECボタンを押すと、タイムコードジェネレータの値を確認することができます。

ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことで、オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

内部/外部タイムコードの記録

1 内部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 CTL/TC/UBスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)
- 4 RUN MODEスイッチの設定(セットアップメニューNo.510)
REC (RUN) : 記録と同時にタイムコードが歩進します。
FREE (RUN) : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。
- 5 REGEN MODEスイッチの設定(セットアップメニューNo.504)
ON (REGEN) : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。
(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参照してください。)
セットアップメニューNo.503 (TCG REGEN)
OFF (PRESET) : TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始します。
- 6 TC SETボタンの設定
TC PRESETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。
 1. カーソル(◀、▶)ボタンで設定したい桁に点滅を移動させます。
左端の桁が点滅します。
 2. カーソル(▲、▼)ボタンを押して値を変更します。
押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。
 - タイムコードおよびユーザービットの実時間使用の場合
00:00:00:00 - 23:59:59:29
 - ユーザービット
00 00 00 00 - FF FF FF FF
 3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。
 4. 開始番号の設定が終わると、SETボタンを押します。
「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。
 5. 記録または編集を行います。

2 外部タイムコードの設定 (TC SW EXT)

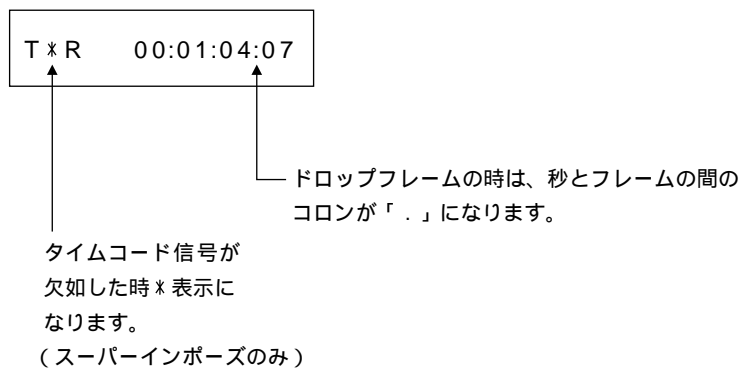
- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 TC/CTL/UBスイッチを「TC」にします。
- 3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)
- 4 セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で以下の設定ができます。
LTC : 後面ジャック板TIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号がTCとして記録されます。
<ノート> LTCはビデオ信号と同期している必要があります。
VITC : 入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

タイムコード/ユーザービットの再生

- 1 STOPモードにします。
- 2 CTL/TC/UB スイッチを「TC」または「UB」にします。
TC：タイムコードが表示されます。
UB：ユーザービットが表示されます。
 - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 3 PLAYボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
セットアップメニューNo.006 (SUPER) が「ON」の場合、VIDEO OUT 3端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

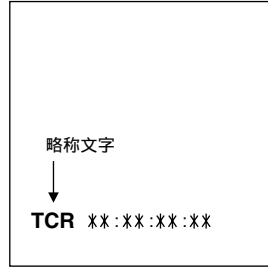
< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときにはCTL信号で自動的に補います。
スーパーインポーズは以下のようになります。



スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

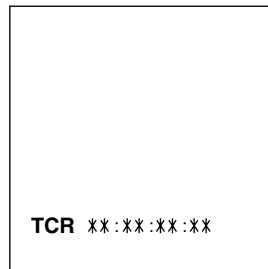


CTL (コントロール信号)
TCR (TCタイムコードの再生値)
UBR (TCユーザービットの再生値)

モニターテレビ

表示文字

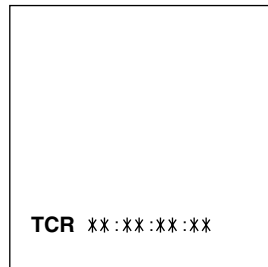
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.007 (CHARA TYPE) で文字の背影を変えることができます。



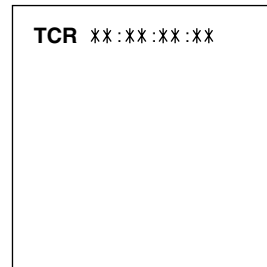
モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.001 (CHARA H-POS) とセットアップメニューNo.002 (CHARA V-POS) で変えることができます。



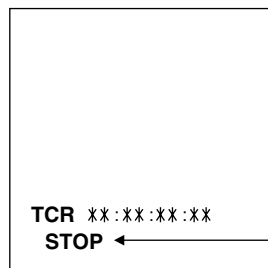
モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) でVTRの動作モードも表示されます。

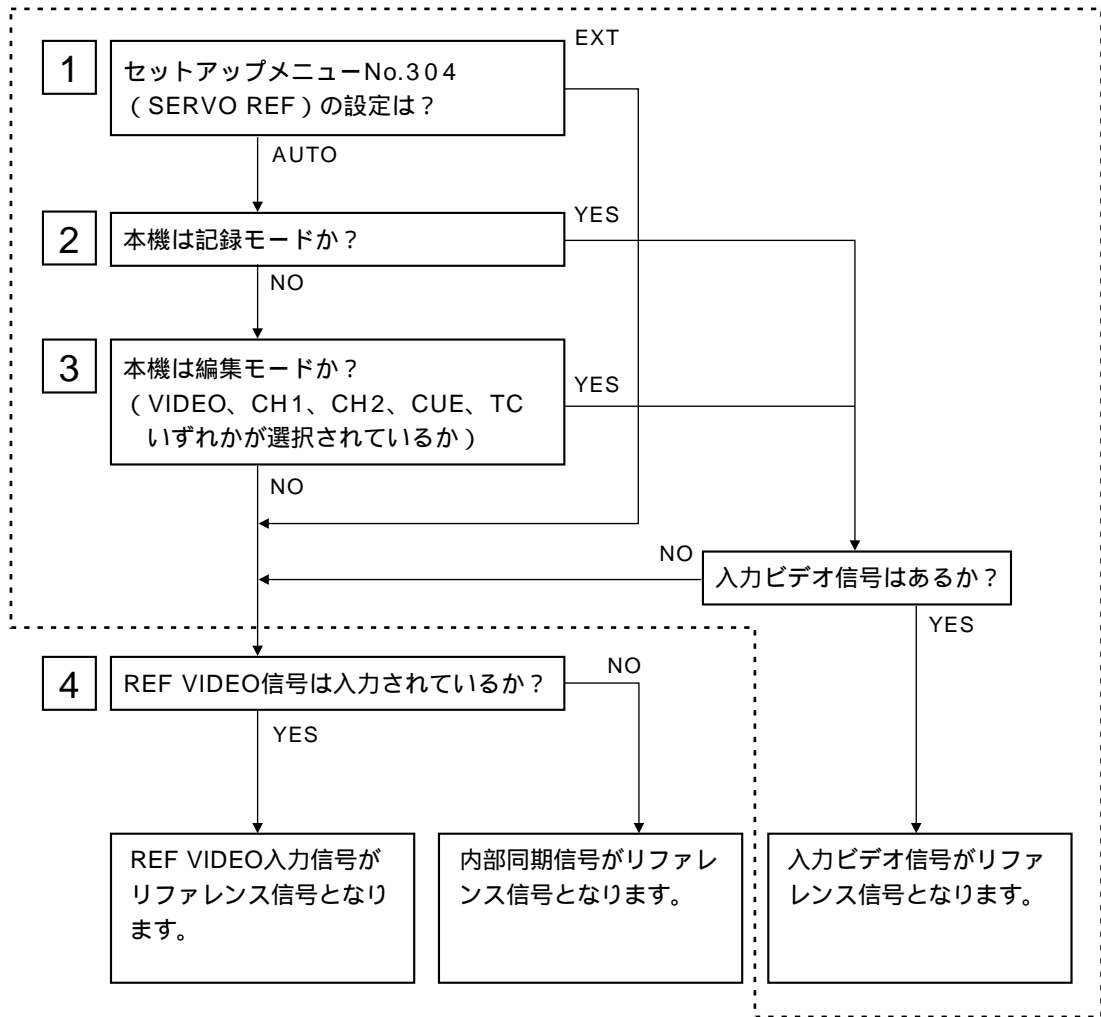


モニターテレビ

サーボリファレンス

本機はサーボ用のリファレンス（基準）信号としてINPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF VIDEO入力端子より入力したリファレンスビデオ信号、またはINTのいずれかを自動的に選択します。

選択の時は下記のフローチャートのように、本機のモードとサーボリファレンスの設定が関係します。



〔 〕内は、AJ-D450のみに適用されます。

サーボリファレンス

サーボリファレンス設定表

サーボリファレンス信号は、サーボリファレンス、デッキのモードおよび入力信号の有無に応じて、下表のように切換えられます。再生および記録でのリファレンス（基準）が一致していないと、編集および記録再生のモード移行時、画像が乱れたり、移行が遅れたりすることがあります。

再生または特殊再生時（AJ-D450のみ）

セットアップメニュー No.304 (SERVO REF) の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

再生または特殊再生時（AJ-D440のみ）

入力信号の状態 REF IN信号	リファレンス信号
	REF IN信号
×	内部同期信号

記録または編集時（AJ-D450のみ）

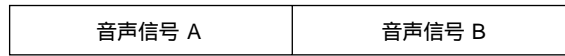
セットアップメニュー No.304 (SERVO REF) の位置	入力信号の状態		リファレンス信号 (サーボ基準)
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
AUTO			VIDEO IN信号
		×	VIDEO IN信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT			REF IN信号
		×	内部同期信号
	×		REF IN信号
	×	×	内部同期信号

は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

音声Vフェード機能 (AJ-D450のみ)

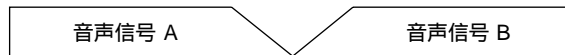
編集時、編集点の繋ぎ方の選択 (セットアップメニューNo.309、310) の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。(ただし、再生フェード選択 (No.719) がAUTOの場合)

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.309、No.310)がCUTの場合



編集の繋ぎ目でノイズが出る場合があります。

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.309、No.310)がFADEの場合



瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

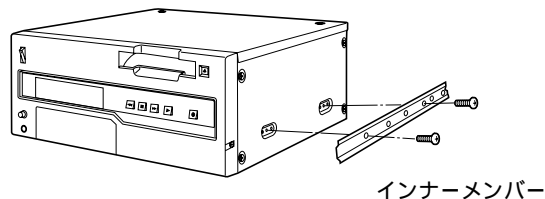
< ノート >

- 再生フェード選択 (No.719) がCUTの場合、全ての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択 (No.719) がFADEの場合、全ての繋ぎ目がVフェードします。

ラックマウント

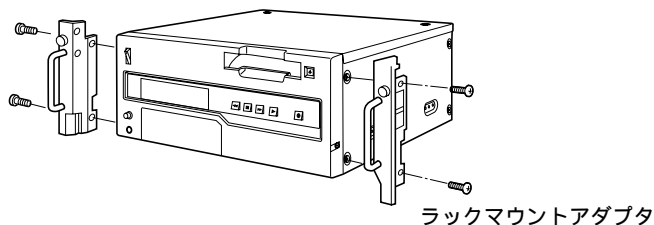
本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P（別売品）をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、（株）ウインステッド・ジャパン社製 MODEL. 8211のレールとブラケットを使用することをお勧めします。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 本機の左右のネジを外します。
- 2 外したネジで、スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。

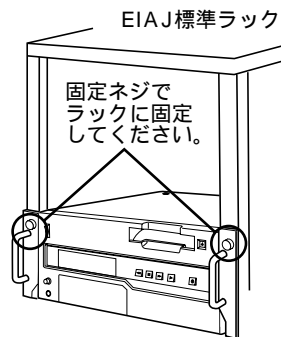


使用するネジは、長さ制限があります。取り付けネジを紛失した場合は、長さ10ミリ以下のものをご使用ください。
インナーメンバーは、必ず4個ネジ止めしてください。

- 3 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。
左右の高さが同じであることを確認してください。
- 4 付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



- 5 本機底面のゴム足（4ヶ所）を外し、本機をラックに取り付けます。
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



< ノート >

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出したとき倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。クリーニング液は当社指定のものをご使用ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このような所へ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンタ表示部に「E-20」コードが点滅し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、「E-20」コードが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、カウンタ表示部にエラー番号を表示します。ダイアグメニューを開くと、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンタ表示部にエラー番号を点滅表示します。

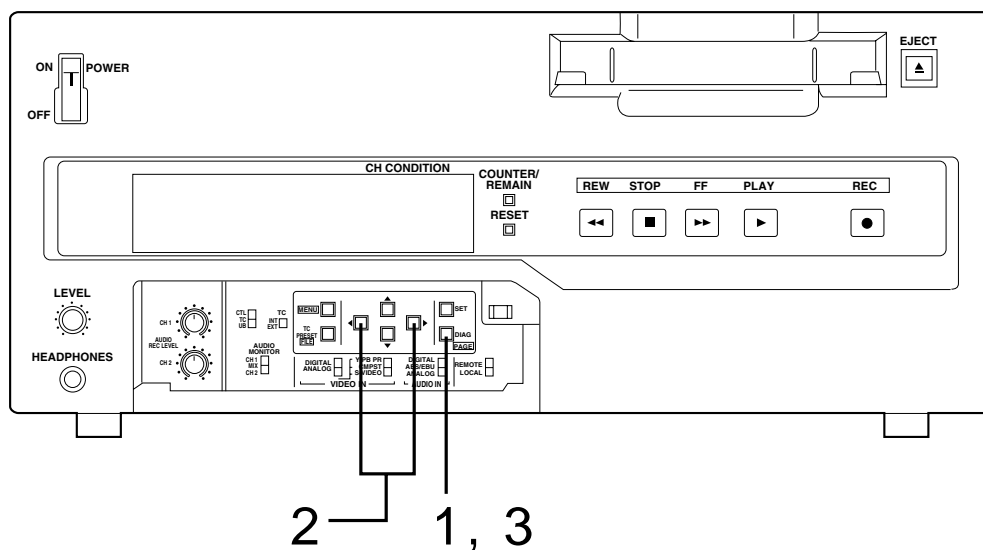
ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

VTRの情報にはワーニング情報とアワーメータ（使用時間）情報があります。モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューがでます。

ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にエラー番号がそれぞれ表示されます。
- 2 カーソルボタン（◀、▶）を押すたびに、ワーニング情報とアワーメータ情報の表示が切替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、モニターテレビにワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、モニターテレビに「NO WARNING」を表示し、カウンタ表示部に「Err-」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、カーソルボタン (▲、▼) を押すと各内容を確認することができます。

アワーメータ情報の表示

カーソルボタン (▲、▼) を押すと、カーソル (*) が移動しカーソルのある項目の項目No. がカウンタ表示部に表示されます。

項目No.	項目	内容
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位 (カウンタ表示部は10時間単位) で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位 (カウンタ表示部は10時間単位) で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL) REC、EDIT モード時 (ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く) に、テープが走行している時間を1時間単位 (カウンタ表示部は10時間単位) で表示します。
H03	THREADING	スレッシング/アンスレッシングの回数を1回単位 (カウンタ表示部は10回単位) で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位 (カウンタ表示部は10時間単位) で表示します。 (リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL) REC、EDIT モード時 (ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く) に、テープが走行している時間を1時間単位 (カウンタ表示部は10時間単位) で表示します。 (リセット可能)
H13	THREADING r	スレッシング/アンスレッシングの回数を1回単位 (カウンタ表示部は10回単位) で表示します。 (リセット可能)

< ノート >

アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。

セットアップメニューNo.003 (DISPLAY SEL) で T&S&M が選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容
高い ▲ ↓ ▼ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとカウンタ表示部にエラー番号を点滅表示し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG*	セットアップメニューNo.601 (INT BB SIG) で「BB」が、あるいはNo.722 (INT SG) で「ON」が選択されている場合に、REC ボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。AJ-D450は外部コントローラからの編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT*	アナログオーディオを除き、INPUT SELECT スイッチにより選択されている端子に入力信号がない場合に、REC ボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。AJ-D450は外部コントローラからの編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、カウンタ表示部にエラー番号を表示し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

< ノート >

アスタリスク (*) のついた項目はAJ-D450のみに表示されます。

エラーメッセージ

ワーニング

優先順位	エラー番号	モニターTVの表示*	内 容	VTRの動作
高い ↑ ↓ 低い	E - 10 (Err-10)*	FAN STOP	ファンモータが停止した場合、エラー番号が点灯します。	動作継続
	E - 00 (Err-00)*	SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合、エラー番号が点灯します。	動作継続
	E - 01 (Err-01)*	LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合、エラー番号が点灯します。	動作継続
	E - 02 (Err-02)*	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合、エラー番号が点灯します。	動作継続

* DIAGボタンを押してワーニング情報を確認した時の表示です。

AUTO OFFモード

ディスプレイに以下のようなエラー番号を点滅表示します。

エラー番号	モニターTVの表示	内 容	VTRの動作 (VTRの処置)
E - 20	DEW	結露を検出した場合、エラー番号が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、エラー番号が消えVTRは使用可能となります。 <ノート> 1)EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 2)カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
E - 29	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンしない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 31	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード(アンローディング)へ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 35	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 36	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 37	SERVO COMM ERROR	10秒経過してもサーボマイコンがシステムコントロールマイコンの指示に従わない場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

エラー番号	モニターTVの表示	内 容	VTRの動作 (VTRの処置)
E - 51	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中(ハーフポジション)の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 52	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態で、テープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 53	WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が異常に異なった場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 55	UNLOAD ERROR	アンローディング時、テープを巻き取らなかった場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 57	S-FF/REW TIMEOVER	始終端処理動作が終了しない場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 59	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 60	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 61	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 64	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 67	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 69	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 70	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっている事を検出した場合、または、電流検出抵抗に、異常電流が流れていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 71	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 72	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - 73	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E - FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、エラー番号が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

RS-232Cインターフェース

1. 概要

(1) RS-232Cインターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。
(67～69ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE
セットアップメニュー項目No.204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK] + [STX] ER001 [ETX]の返答を行います。
[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定に従います。

2. ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

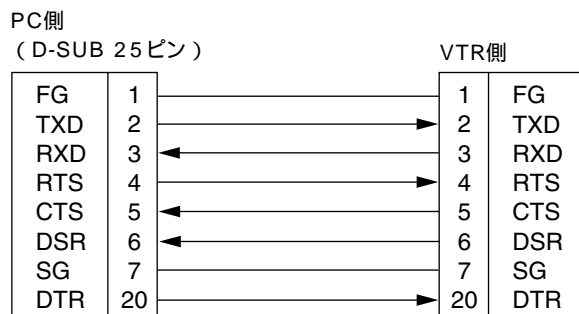
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン (ストレートケーブル対応)

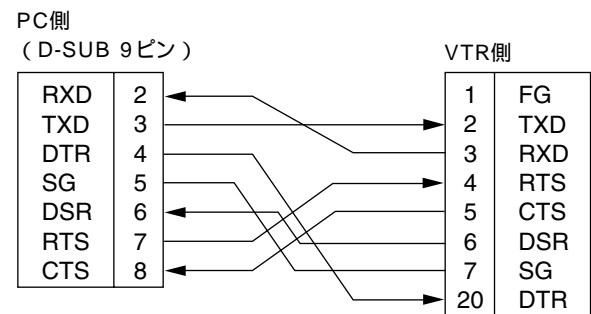
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
3	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
4	RTS	送信要求	5番ピンと短絡
5	CTS	送信可	4番ピンと短絡
6	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DTR	データ端末レディ	未処理

(2) コントローラ (PC) との接続例

(D-SUB 25ピン ストレートケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン - 25ピン ストレートケーブルを使用)



3. ソフトウェア仕様

プロトコル

(1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7 bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない/ACKコードを返信する <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、_____で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

(2) 送信フォーマット[コントローラ(PC) VTR]

データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード:記号、数字、英大文字)

20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。
コマンドとして3バイトの識別子 (ASCIIコード:記号、数字、英大文字) を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ (ASCIIコード:記号、数字、英大文字) を付け加えることができます。

コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX (START OF TEXT = 02h) で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。
最後にETX (END OF TEXT = 03h) で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。
(66ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

RS-232Cインターフェース

(3) 返信フォーマット[VTR コントローラ(PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. 実行完了メッセージを返信します。

[STX] [command] [data] [ETX]
02h XX XX XX XX-XX 03h

- [command] : 返信するメッセージ (データ) または、実行完了のメッセージ識別子です。
- [data] : 返信するデータです。省略が可能です。
- [example] : 送信コマンド 返信メッセージ (データ)
 [STX] OPL [ETX] [ACK] [STX] OPL [ETX]

通信が異常終了した場合

[NACK]
15h

間違ったデータまたは、VTRに異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. エラーコードを返信します。

[STX] E R N₁ N₂ N₃ [ETX]
02h エラーコード 03h

4. エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER102 : VTR モードエラー (フロントローディングモータ)

ER103 : VTR モードエラー (ローディングモータ)

ER104 : VTR モードエラー (ドラム、キャプスタン系)

ER105 : VTR モードエラー (リール系)

ER106 : VTR モードエラー (テンション系)

ER108 : VTR DEWエラー

ER1FF : VTR システムエラー

5. コマンド一覧

(1) 動作制御 (Operation) 関連コマンド

< ノート >

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC*	[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	録画を開始するコマンドです。

* マークの項目はAJ-D450のみに適用されます。

RS-232Cインターフェース

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 (DVCPRO), ×0.03 (DV) 2: ×0.1 (DVCPRO), ×0.1 (DV) 3: ×0.2 (DVCPRO), ×0.3 (DV) 4: ×0.5 (DVCPRO), ×0.5 (DV) 5: ×1 (DVCPRO), ×1 (DV) 6: ×1.85 (DVCPRO), ×1.85 (DV) 7: ×4.1 (DVCPRO), ×3.1 (DV) 8: ×9.5 (DVCPRO), ×9.5 (DV) 9: ×16 (DVCPRO), ×16 (DV) :[本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。] A: ×32 (DVCPRO), ×32 (DV) :[本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。]		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL 1: ×0.03 (DVCPRO), ×0.03 (DV) 2: ×0.1 (DVCPRO), ×0.1 (DV) 3: ×0.2 (DVCPRO), ×0.3 (DV) 4: ×0.43 (DVCPRO), ×0.5 (DV) 5: ×1 (DVCPRO), ×1 (DV) 6: ×1.85 (DVCPRO), ×1.85 (DV) 7: ×4.1 (DVCPRO), ×3.1 (DV) 8: ×9.5 (DVCPRO), ×9.5 (DV) 9: ×16 (DVCPRO), ×16 (DV) :[本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。] A: ×32 (DVCPRO), ×32 (DV) :[本速度は、セットアップメニューNo.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。]		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。

(2) 問い合わせ (Question) 関連コマンド

< ノート >

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		<pre> data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL: g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0 ~ 9 : 時 TC: gh = 00 ~ 23 : 時 mm = 00 ~ 59 : 分 ss = 00 ~ 59 : 秒 ff = 00 ~ 29 : フレーム </pre>	フロント表示モードに合わせてCTLかTCを返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		<pre> xxx = OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP (STANDBY ON含む) SRS: (IN/OUT) PREROLL OBF: STANDBY OFF OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE EAE: AUTO EDIT EON: EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV: PREVIEW ERV: REVIEW </pre>	
ID(機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-D440、AJ-D450	

RS-232Cインターフェース

(3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "*** Quit ***": GOTO ProgEnd
WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

コネクタの信号

VIDEO IN (AJ-D450のみ)

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー	(オプション)
Y、P B、P R (ANALOG)	BNC × 3		
VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー	75 Ω終端スイッチ付
REF VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー	75 Ω終端スイッチ付
S1-VIDEO IN	4ピン × 1		

VIDEO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3		(オプション)
Y、P B、P R (ANALOG)	BNC × 3		
VIDEO OUT	BNC × 3		
S1-VIDEO OUT	4ピン × 1		

AUDIO IN (AJ-D450のみ)

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2		(オプション)
AUDIO IN (DIGITAL)	BNC × 1	CH1/CH2 AES/EBU	フォーマット (オプション)
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2	
TIME CODE IN	BNC × 1		

ピンNo.	内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

AUDIO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3		(オプション)
AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC × 1	CH1/CH2 AES/EBU	フォーマット (オプション)
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 2	CH1、CH2	
TIME CODE OUT	BNC × 1		
MONITOR OUT	PHONO × 1		
HEADPHONES (フロント)	M6 × 1		

RS-422A REMOTE (9P)

REMOTE

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5	—————	8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

コネクタの信号

RS-232C REMOTE (D-SUB 25ピン、

ストレートケーブル対応、オプション)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRAME GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
3	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
4	RTS	送信要求	5番ピンと短絡
5	CTS	送信可	4番ピンと短絡
6	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DTR	データ端末レディ	未処理

ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	_____	6	SYSTEM H	11	RET GND
2	SET UP	7	SYS. SC COARSE (2)	12	_____
3	C LEVEL	8	- 12V	13	_____
4	GND	9	HUE	14	SYS. SC FINE
5	+ 12V	10	VIDEO LEVEL	15	SYS. SC COARSE (1)